

こしぶ 小渋ダム

天竜川水系初のアーチ式コンクリートダム

1969(昭和44)年に竣工。1961(昭和36)年の三六災害後の対策で、小渋川に建設された高さ105mのアーチ式コンクリートダム。洪水調節・不特定利水による天竜川の治水のほか、下伊那郡竜東上段域の農地への灌漑と水力発電を目的とする国直轄の多目的ダム。小渋川総合開発事業の一環として、小渋第1発電所、第2発電所が小渋ダム築造にあわせて建設された。



高さ105m、長さ293mのアーチ式コンクリートダム



諏訪湖とほぼ同じ量の水を貯めることができる

information

- アクセス
松川ICから15Km
車→30分
- 所在地
中川村・松川町



! ?
アーチ式
コンクリート
ダム
天竜川の
治水の要

コンクリートを主材料として使用し、アーチ止水壁にかかる水圧を兩岸の岩盤で支える型式のダム。上空から眺めると河川を横断する堤体が弧を描くように見える。

堤体の厚みが、他のアーチ式コンクリートダムより薄い点が特徴。その薄さにもかかわらず、漏水量が非常に少なく、施工方法が秀逸だった事がうかがえる。美和ダムに匹敵する流域面積を持ち、美和ダムと共に、天竜川の治水の要となるダム。



(国土地理院の数値地図25000(地図画像)を使用)